

学校における歯と口の健康づくり推進計画 (概要版)

第一章 計画策定にあたって

策定趣旨

- 1 計画策定の趣旨
これまでの取組みを踏まえ、さらなる歯と口の健康づくりを推進
- 2 計画の位置づけ
「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」の個別計画

第二章 現状と課題

現状

現在の取組み
歯科検診、フッ化物塗布、啓発チラシの配布、全国小学生歯みがき大会への参加、よい歯の学校表彰、医療券の発行、保健体育の授業 等

課題

- ①むし歯の割合 政令市最下位：小学校49.2%・中学校57.4%（令和2年度）
- ②健康格差 むし歯がある・ない児童生徒の二極化
- ③生活習慣 正しい歯みがきの仕方や、おやつ等のとり方など生活習慣の見直し
- ④特別支援学校の児童生徒への指導 個人差があり集団指導が困難

第三章・第四章 計画の体系・施策の具体的な取組み、進捗管理

目標

- ①むし歯や歯肉炎のない児童生徒の増加
フッ化物の利用の推進や望ましい食習慣、生活習慣などの普及啓発
- ②歯科医等の専門職及び家庭、学校との連携強化
専門職（歯科医、歯科衛生士など）や家庭、学校、PTA等の連携体制の構築

・施策の柱

・具体的な取組み

- 柱1 生涯を通じた歯と口の健康づくりの基盤となる望ましい生活習慣の形成
- (1)食育指導等の強化
 - (2)専門家による歯みがき指導や生活習慣に関する保健指導等の充実、強化
 - (3)給食後の歯みがきの実施
指 標 食育指導率、歯みがき指導実施率、給食後の歯みがき実施率など
- 柱2 むし歯治療、むし歯予防のための歯科受診の推進
- (1)歯科検診後のフォローアップ体制の強化
 - (2)医療券の利用を促進するための啓発
指 標 歯科検診後の歯科受診率、医療券利用率
- 柱3 フッ化物によるむし歯予防の普及啓発の強化、フッ化物洗口法等の推進
- (1)学校と学校歯科医との連携によるフッ化物洗口法等の取組み強化
 - (2)フッ化物によるむし歯予防をテーマにした講演会や研修会の開催
指 標 フッ化物洗口の実施率、フッ化物塗布の実施率

進捗管理

- ①計画の推進体制
「学校における歯と口の健康づくり推進協議会」を設置し推進
- ②計画の進行管理と評価
「学校における歯と口の健康づくり推進協議会」にて進捗状況、評価等を実施